

建屋滞留水貯蔵量の見直しについて

2018年6月28日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2-4号建屋滞留水貯蔵量の見直しについて



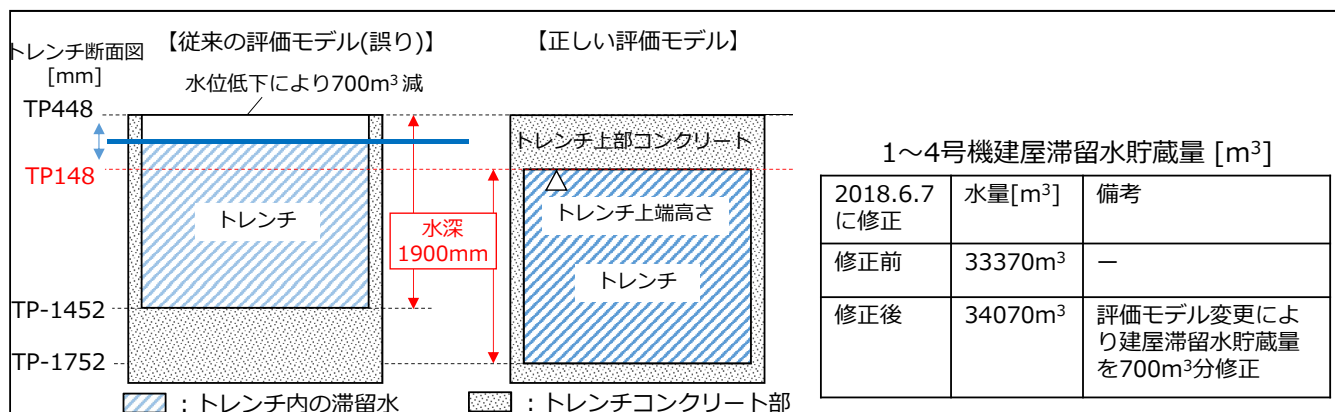
■ 建屋滞留水貯蔵量の見直しについて

- 2～4号機の建屋滞留水貯蔵量の評価モデルに誤りが見つかったため、建屋滞留水貯蔵量の見直しを実施する。

項目	内容
2,3,4号タービン建屋 海水系配管等トレンチ	地下階床面下に設置されている 海水系配管等トレンチ内の滞留水を算出する 評価モデルを修正する。

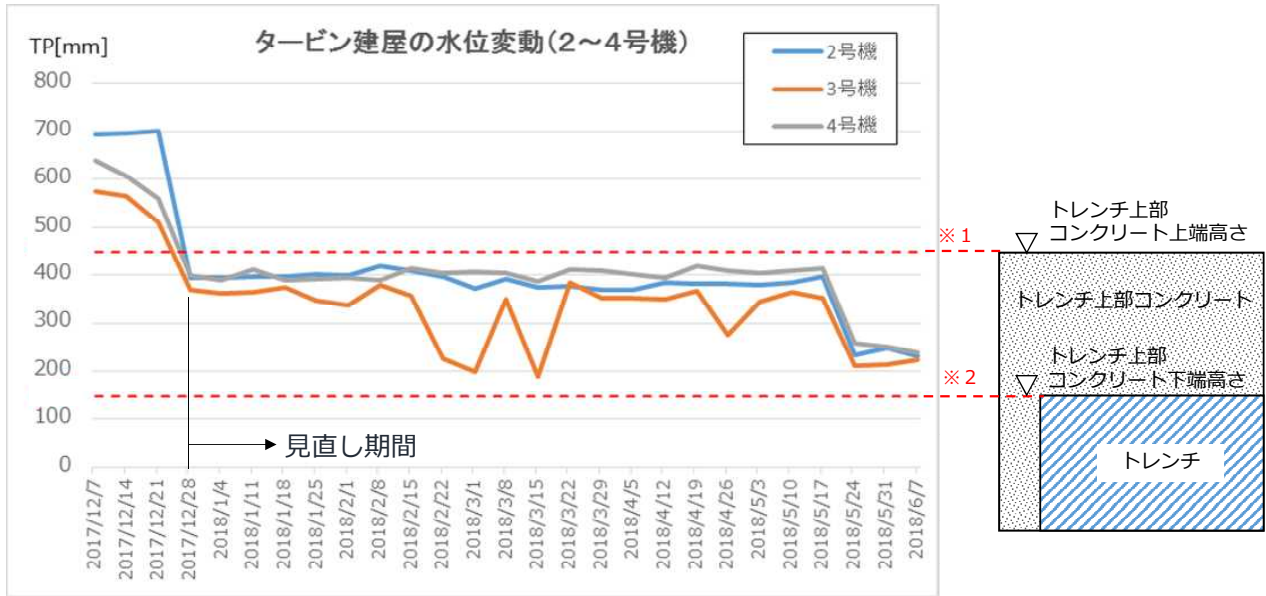
■ 見直し内容（代表ケース：1F-2）

- トレンチ（水深1900mm）上端高さはTP148であるが、従来の評価モデルでは上端高さをTP448としていたことから、本来発生しない建屋滞留水の変動を評価していた。



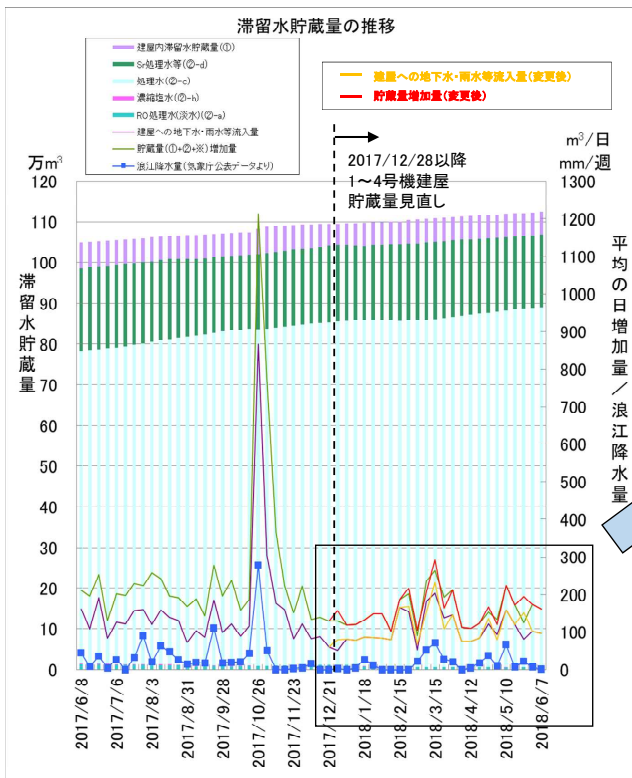
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

- 2～4号機タービン建屋の水位変動の推移を下図に示す。
- 各タービン建屋の水位がトレンチ上部コンクリート上端を下回った期間は、2017年12月28日以降であることから、この期間の建屋滞留水量及び地下水他流入量を見直す。

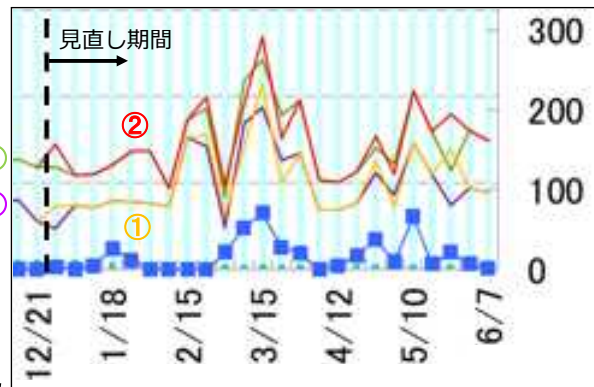


※1 トレンチ上部コンクリート上端の高さ 2号：TP448, 3号：TP463, 4号：TP461
 ※2 トレンチ上部コンクリート下端の高さ 2号：TP148, 3号：TP163, 4号：TP161

地下水・雨水等流入量及び貯蔵量増加量の見直しについて



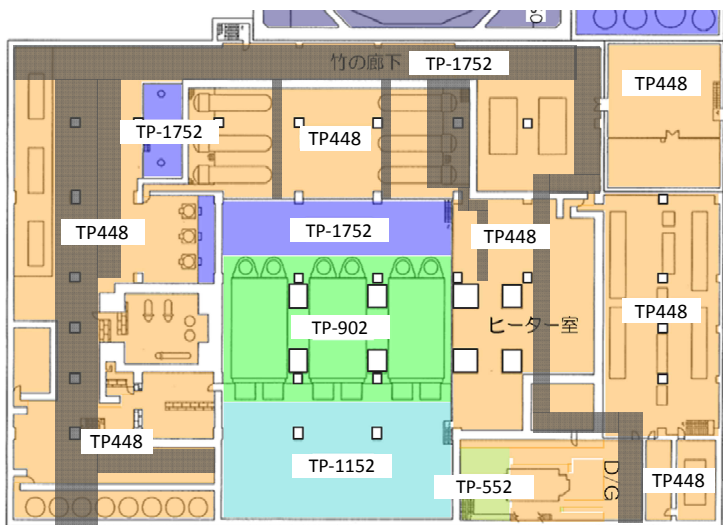
- 見直し期間 2017年12月28日以降



変更後
 ① 建屋への地下水・雨水等流入量
 ② 貯蔵量増加量

変更前
 ③ 建屋への地下水・雨水等流入量
 ④ 貯蔵量増加量

- タービン建屋海水系配管等トレンチ内の滞留水貯蔵量算出方法（2017年3月31日より反映）
 - 躯体図から各建屋トレンチの面積を算出。
 - 各トレンチ内の容量はトレンチ面積×トレンチ水深×機器を考慮した有効体積率によって算出。



各T/Bのトレンチ容量算出パラメータ

号機	トレンチ面積	水深*
2号	1,137 m ²	1.9 m
3号	1,243 m ²	1.9 m
4号	1,297 m ²	1.9 m

※TP-1752～148に水が滞留
(2号機の例)

■: トレンチ面積部

2号T/B 海水系配管等トレンチ配置図